

公立大学法人静岡文化芸術大学 令和5年度計画 用語解説

(五十音順)

用語	解説
IR (アイ・アール)	Institutional Research。大学の経営改善や学生支援、教育の質の向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行うといった広範な活動を指す。
アクティブラーニング	教員が学生に一方向的に知識を教授する講義型ではなく、学生が主体的に問題を発見し、解を見出していく能動的な学習方法の総称。認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。アクティブラーニングを取り入れた授業は、学生参加型授業、共同学習、探求学習、能動的学習、経験型学習、問題解決学習などの名称で呼ばれ、実際の授業は、グループワーク、ディスカッション、リフレクション（自己の活動内容を振り返って評価すること）、ディベートなどにより進められる。
アセスメント・ポリシー	学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた学内の方針。
アドミッション・ポリシー	大学の入学者受け入れ方針。自校の特色や教育理念などに基づき、どのような学生像を求めるかをまとめたもの。
アウトソーシング	外注、外製（がいせい）ともいい、企業や行政の業務のうち専門的なものについて、それをより得意とする外部の企業等に委託すること。
アーカイブ	重要記録を有効活用するため、保存すること。
HSK (エイチエスケー)	読む・書く・聞くで構成されている中国語検定試験で、その成績証明は中国政府が公認し、世界中で公的証明として用いられている。
SDGs (エス・ディー・ジーズ)	Sustainable Development Goals。持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標。
カリキュラム・ポリシー	教育課程の編成に関する基本的な方針。
CAP 制 (キャップ)	単位の過剰登録を防ぐため、1年間あるいは1学期間に履修登録できる単位の上限を設ける制度。 日本の大学制度は単位制度を基本としているが、大学設置基準上1単位は、教員が教室等で授業を行う時間に加え、学生が予習や復習など教室外において学習する時間の合計で、標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されている。また、これを基礎とし、授業期間は1学年間におよそ年30週、1学年間で約30単位を修得することが標準とされ、したがって大学の卒業要件は4年間にわたって124単位を修得することを基本として制度設計されている。 学生が過剰な単位登録をして、3年で安易に124近くの単位を修得し、結果として45時間相当に満たない学習量で単位が認定されているという現象が生じたことから、大学設置基準で「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるように努めなければならない」と規定された。

用語	解説
GPA制（グレード・ポイント・アベレージ）	<p>アメリカにおいて一般的に行われている学生の成績評価方法の一種。一般的な取扱いの例は次のとおりである。</p> <p>①学生の評価方法として、授業科目ごとの成績評価を5段階（A、B、C、D、F）で評価し、それぞれに対して4・3・2・1・0のグレード・ポイントを付与し、この単位当たり平均（GPA）を出す。</p> <p>②単位修得はDでも可能であるが、卒業のためには通算のGPAが2.0以上であることが必要とされる。</p> <p>③3セメスター（1年半）連続してGPAが2.0未満の学生に対しては、退学勧告がなされる。（但し、これは突然退学勧告がなされるわけではなく、学部長等から学習指導・生活指導等を行い、それでも学力不振が続いた場合に退学勧告となる。）</p> <p>なお、このような取扱いは、1セメスター（半年）に最低12単位、最高18単位の標準的な履修を課した上で成績評価し、行われるのが一般的である。</p>
語学パートナー	<p>留学生と日本人学生が2人1組のペアになり、それぞれの母国語や文化を教え合うシステム。留学生の希望に応じてポータルで募集し、スケジュール等がマッチングしたら参加できる。英語、中国語、韓国語などで実績がある。</p>
新時代を拓く高校教育推進事業	<p>魅力ある高校づくりを推進するため、国の普通科改革を踏まえて実施される、県教育委員会の事業。オンリーワン・ハイスクール事業とプロフェッショナルへの道事業がある。</p>
3ポリシー	<p>大学の一貫性のある教育の質保証のため2017年より策定・公開することが義務付けられた、次の3つの基本方針をいう。「ディプロマ・ポリシー」学位授与方針、「カリキュラム・ポリシー」教育課程編成・実施方針、「アドミッション・ポリシー」入学者受入方針。</p>
情報セキュリティ	<p>情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持すること。</p> <p>（機密性）情報にアクセスすることを認められた者だけが、情報にアクセスできる状態を確保すること。</p> <p>（完全性）情報が破壊、改ざん又は消去されていない状態を確保すること。</p> <p>（可用性）情報にアクセスすることを認められた者だけが、必要なときに中断されることなく、情報にアクセスできる状態を確保すること。</p>
SD（スタッフ・ディベロップメント）	<p>教員に加え事務職員や技術職員など、教職員全員を対象とした、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組。</p>
チューター制	<p>教員による学部学生への学修面を含めた学生生活全般に関する相談及び個別指導のこと。</p>
長期履修制度	<p>本学においては、身体に障害がある等の事情により標準修業年限で卒業することが困難であると認められる者について、申請により入学時から起算して6年を限度として長期履修を許可する。</p>
ティーチング・アシスタント（TA）	<p>優秀な大学院学生に対し、教育的配慮の下に、学部学生等に対するチュータリング（助言）や演習等の教育補助業務を行わせ、大学教育の充実と大学院学生のトレーニングの機会提供を図るとともに、これに対する手当の支給により、大学院学生の処遇の改善の一助とすることを目的とした制度。</p>

用語	解説
ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与に関する基本的な方針。
TOEIC (トーイック)	Test of English for International Communication。英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであり、世界約 60 ヶ国で実施されている。
日本語アカデミック・ライティング支援	学生が大学のレポートや論文、発表資料などの学術文章（アカデミックな文章）を日本語で書くことを支援すること。
ピアサポート	一般に「同じような立場の人によるサポート」といった意味。本学においては、学生生活上で支援や援助を必要としている学生に対し、学生同士で相談や手助けができるように大学が支援する。
FD (ファカルティ・ディベロップメント)	教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。
フェアトレード	公平・公正な貿易。貧困のない公正な社会をつくるために、経済的・社会的に弱い立場にある途上国の生産者と強い立場にある先進国の消費者が、対等な立場で行う貿易のこと。広くは地産地消の考え方なども含む。
ふじのくに地域・大学コンソーシアム	高等教育機関相互の連携を深め、また、行政、産業界、非営利活動法人などと広範なネットワークを形成し、県内高等教育機関の教育力・研究力の一層の向上を図るとともに、それぞれの主体が一体となって、地域社会の発展に寄与していくことを目的とし、本県の大学間連携組織である「大学ネットワーク静岡」を発展的に改組し平成 26 年 3 月 27 日に設立。
researchmap	研究者が業績を管理・発信できるようにすることを目的とした、データベース型研究者総覧。現在、日本人または日本で研究する 30 万人を超える研究者が登録している。
Wi-Fi	無線でネットワークに接続する技術（無線 LAN の規格のひとつ）

※ 文部科学省資料、本学資料のほか、インターネットから作成